

令和7年第3回千葉市議会定例会会議録（第1号）

令和7年9月4日（木）午後1時0分開会

○議事日程

諸般の報告

日程第1 会議録署名人選任の件

日程第2 会期決定の件

日程第3 議案第103号 令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）

議案第104号 令和7年度千葉市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第105号 令和7年度千葉市動物公園事業特別会計補正予算（第1号）

議案第106号 令和7年度千葉市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）

議案第107号 令和7年度千葉市病院事業会計補正予算（第1号）

議案第108号 令和7年度千葉市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第109号 令和7年度千葉市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第110号 千葉市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について

議案第111号 千葉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

議案第112号 千葉市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について

議案第113号 千葉市収入証紙条例の廃止について

議案第114号 千葉市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正について

議案第115号 千葉市環境関係手数料条例の一部改正について

議案第116号 千葉市斎場設置管理条例の一部改正について

議案第117号 千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正について

議案第118号 千葉市立小学校設置条例の一部改正について

議案第119号 千葉マリスタジアム設置管理条例の一部改正について

議案第120号 千葉市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正について

議案第121号 千葉市下水道条例の一部改正について

議案第122号 財産の取得について（消防救急デジタル無線機）

議案第123号 工事請負契約について（千葉市花見川消防署畑出張所改築工事）

議案第124号 工事請負契約について（（主）生実本納線（赤井町地区）函渠整備工事（7-2））

議案第125号 指定管理者の指定について（千葉アイススケート場）

議案第126号 議決事件の一部変更について（千葉市新清掃工場建設工事に係る工事請負契約）

議案第127号 市道路線の認定について

議案第128号 令和6年度千葉市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

て

- 議案第 129号 決算の認定について（令和6年度千葉市一般会計歳入歳出決算）
議案第 130号 決算の認定について（令和6年度千葉市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 131号 決算の認定について（令和6年度千葉市介護保険事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 132号 決算の認定について（令和6年度千葉市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 133号 決算の認定について（令和6年度千葉市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 134号 決算の認定について（令和6年度千葉市霊園事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 135号 決算の認定について（令和6年度千葉市競輪事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 136号 決算の認定について（令和6年度千葉市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 137号 決算の認定について（令和6年度千葉市都市計画土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 138号 決算の認定について（令和6年度千葉市市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 139号 決算の認定について（令和6年度千葉市動物公園事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 140号 決算の認定について（令和6年度千葉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 141号 決算の認定について（令和6年度千葉市学校給食事業特別会計歳入歳出決算）
議案第 142号 決算の認定について（令和6年度千葉市公債管理特別会計歳入歳出決算）
議案第 143号 決算の認定について（令和6年度千葉市病院事業会計決算）
議案第 144号 決算の認定について（令和6年度千葉市下水道事業会計決算）
議案第 145号 決算の認定について（令和6年度千葉市農業集落排水事業会計決算）
議案第 146号 決算の認定について（令和6年度千葉市水道事業会計決算）
発議第 7号 千葉市カスタマーハラスメント防止条例の制定について
-

○出席議員

- | | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 1 番 | 石 川 美 香 君 | 2 番 | 吉 川 英 二 君 |
| 3 番 | 茂 呂 一 弘 君 | 4 番 | 岳 田 雄 亮 君 |
| 5 番 | 須 藤 博 文 君 | 6 番 | 岡 崎 純 子 君 |
| 7 番 | 黒 澤 和 泉 君 | 8 番 | 野 島 友 介 君 |

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

9 番	山 崎 真 彦 君	10 番	大 平 真 弘 君
11 番	渡 邊 惟 大 君	12 番	桜 井 秀 夫 君
13 番	青 山 雅 紀 君	14 番	伊 藤 隆 広 君
15 番	前 田 健 一 郎 君	16 番	石 川 弘 君
17 番	小 坂 さ と み 君	18 番	三 井 美 和 香 君
19 番	渡 辺 忍 君	20 番	安 喰 初 美 君
21 番	枇 澤 洋 平 君	22 番	守 屋 聡 君
23 番	蛭 田 浩 文 君	24 番	伊 藤 康 平 君
25 番	阿 部 智 君	26 番	松 坂 吉 則 君
27 番	植 草 毅 君	28 番	岩 井 雅 夫 君
29 番	亀 井 琢 磨 君	30 番	田 畑 直 子 君
31 番	川 合 隆 史 君	32 番	麻 生 紀 雄 君
33 番	段 木 和 彦 君	34 番	佐々木 友 樹 君
35 番	盛 田 眞 弓 君	36 番	櫻 井 崇 君
37 番	森 山 和 博 君	38 番	酒 井 伸 二 君
39 番	小松崎 文 嘉 君	40 番	向 後 保 雄 君
41 番	宇留間 又 衛 門 君	42 番	中 島 賢 治 君
43 番	三 須 和 夫 君	44 番	石 井 茂 隆 君
45 番	米 持 克 彦 君	46 番	石 橋 毅 君
47 番	白 鳥 誠 君	48 番	三 瓶 輝 枝 君
49 番	中 村 公 江 君	50 番	野 本 信 正 君

○説明員

市 長 神 谷 俊 一 君
副 市 長 橋 本 直 明 君
総合政策局長 藤 代 真 史 君
財 政 局 長 勝 瀬 光 一 郎 君
保健福祉局長 今 泉 雅 子 君
環 境 局 長 秋 幡 浩 明 君
都 市 局 長 鹿 子 木 靖 君
消 防 局 長 市 村 裕 二 君
会 計 管 理 者 折 原 亮 君
市長公室長 山 崎 哲 君
教 育 長 鶴 岡 克 彦 君
選挙管理委員会 大 野 雄 子 君
委員長 長谷部 衡 平 君
農業委員会会長

副 市 長 大 木 正 人 君
病院事業管理者 山 本 恭 平 君
総 務 局 長 久 我 千 晶 君
市 民 局 長 那 須 一 恵 君
こども未来局長 大 町 克 己 君
経済農政局長 安 部 浩 成 君
建 設 局 長 山 口 浩 正 君
水 道 局 長 山 田 裕 之 君
病院局次長 橋 本 欣 哉 君
総 務 部 長 中 尾 嘉 之 君
教 育 次 長 中 島 千 恵 君
人 事 委 員 会 下 山 修 司 君
委員長 穴 倉 輝 雄 君
代表監査委員

○議会事務局

事 務 局 長 香 取 徹 哉 君
議 事 課 長 安 西 雅 樹 君

次 長 寺 崎 勝 宣 君
議事課長補佐 佐 藤 大 介 君

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

議 事 班 主 査 石 黒 薫 子 君

○本日の会議に付した事件

諸般の報告

人事委員会委員長就任挨拶

日程第1 会議録署名人選任の件

日程第2 会期決定の件

日程第3 議案自第103号至第146号、発議第7号上程（提案理由説明）

午 後 1 時 0 分 開 会

○議長（松坂吉則君） ただいまより、令和7年第3回千葉市議会定例会を開会いたします。
出席議員は49名、会議は成立いたしております。

諸般の報告

○議長（松坂吉則君） 諸般の報告については、お手元に配付のとおりでございます。

諸 般 の 報 告

1 説明員

令和7年第3回千葉市議会定例会に出席する旨報告のあった説明員は、次のとおりである。

【市長部局】

（1）全日程に出席

市長、大木副市長、橋本副市長、総合政策・総務・財政各局長、市長公室長、総務部長

（2）開会日、代表質疑日、議案議決日及び閉会日に出席

病院事業管理者

（3）開会日、代表質疑日、所管事項の答弁予定時、議案議決日及び閉会日に出席

市民・保健福祉・こども未来・環境・経済農政・都市・建設・消防・水道各局長、会計管理者、病院局次長

（4）所管局長欠席時に出席

保健福祉・都市・建設各局次長

（5）所管事項の答弁予定時に出席

危機管理監、中央・花見川・稲毛・若葉・緑・美浜各区長

【教育委員会】

（1）全日程に出席

教育長

（2）開会日、代表質疑日、所管事項の答弁予定時、議案議決日及び閉会日に出席

教育次長

【選挙管理委員会】

（1）開会日に出席

選挙管理委員会委員長

- (2) 代表質疑日、所管事項の答弁予定時、議案議決日及び閉会日に出席

選挙管理委員会事務局長

【人事委員会】

- (1) 開会日に出席

人事委員会委員長

- (2) 代表質疑日、所管事項の答弁予定時、議案議決日及び閉会日に出席

人事委員会事務局長

【農業委員会】

- (1) 開会日に出席

農業委員会会長

- (2) 代表質疑日、所管事項の答弁予定時、議案議決日及び閉会日に出席

農業委員会事務局長

【監査委員】

全日程に出席

代表監査委員

2 全国市議会議長会

- (1) 第241回理事会が7月1日に東京都で開催され、議長が出席し、全国市議会議長会研究フォーラム等についての協議が行われた。

- (2) 指定都市協議会の第37回総会が8月21日に相模原市で開催され、議長が出席し、令和7年度の活動等について協議し、決定した。

3 関東市議会議長会

第1回支部長会議が7月31日に川越市で開催され、議長が出席し、都県提出議案等について協議し、決定した。

4 千葉県市議会議長会

役員会が8月5日に本市で開催され、議長が出席し、次期役員選出方法等について協議し、決定した。

5 京葉5市議会議長連絡協議会

定例会が8月7日に八千代市で開催され、議長が出席し、議員合同研修会及び行政視察等について協議し、決定した。

6 委員会等開催状況

- (1) 防災・減災対策調査特別委員会が7月10日に開かれ、今期の委員会の進め方について協議した。

- (2) 大都市制度調査特別委員会が7月22日に開かれ、令和8年度国の施策及び予算に関する提案等について協議した後、今期の委員会の進め方について協議した。

- (3) 教育未来委員会が7月25日に開かれ、教職員の性暴力事案と本市の対策について調査した。

- (4) 議会運営委員会が9月1日に開かれ、第3回定例会の運営等について協議した。

- (5) 幹事長会議が7月7日に開かれ、千葉市議会機能向上委員会等について協議した。また、8月22日に開かれ、第3回定例会の運営等について協議した。さらに、8月29日に開か

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

れ、全国市議会議長会での協議内容等について報告した。

（6）千葉市議会機能向上委員会が7月7日に開かれ、委員会の運営等について協議した。また、8月22日に開かれ、政策立案機能強化と体制整備等について協議した。

（7）広報委員会が7月8日に開かれ、市議会だよりの掲載内容等について協議した。

7 市長から別途配付のとおり、報告自第4号至第10号の報告があった。

8 監査委員から別途配付のとおり、7月1日付け7千監行第40号の通知、8月6日付け7千監査報告第2号及び8月27日付け7千監（住）第1号の報告があった。

人事委員会委員長就任挨拶

○議長（松坂吉則君） なお、人事委員会委員長に就任されました下山修司氏より、挨拶したい旨の申し出がまいっておりますので、お聞き取り願います。人事委員会委員長。

○人事委員会委員長（下山修司君） ただいま御紹介にあずかりました、人事委員会委員長の下山修司でございます。

議長のお許しをいただきましたので、一言御挨拶を申し上げます。

私は、さきの第2回定例会におきまして、人事委員会委員として議会の御同意をいただき、7月に開催されました人事委員会定例会におきまして、委員長に選出され、重責を務めさせていただくことになりました。

現在の公務員を取り巻く環境は、厳しさを増す人材確保をはじめ、働き方に関する価値観やライフスタイルの変化への対応など、大変難しい状況にございますが、社会情勢の変化を的確に捉えながら、専門的、中立的な立場から、人事行政の推進に誠心誠意努めてまいる所存です。議員の皆様方におかれましては、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、私の就任の御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

午 後 1 時 2 分 開 議

○議長（松坂吉則君） これより会議を開きます。

日程第1 会議録署名人選任の件

○議長（松坂吉則君） 日程第1、会議録署名人選任の件を議題といたします。

私より指名いたします。24番・伊藤康平議員、25番・阿部智議員の両議員をお願いいたします。

日程第2 会期決定の件

○議長（松坂吉則君） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から10月2日までの29日間としたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松坂吉則君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

日程第3 議案自第103号至第146号、発議第7号上程（提案理由説明）

○議長（松坂吉則君） 日程第3、議案第103号から第146号まで及び発議第7号を議題といたします。

市長より提出されました議案第103号から第146号までの44議案、柗澤洋平議員外6名より提出されました発議第7号については、お手元に配付のとおりでございます。

まず、議案第103号から第146号までについて、提案理由の説明をお願いいたします。神谷市長。

〔市長 神谷俊一君 登壇〕

○市長（神谷俊一君） 本日ここに、令和7年第3回定例会を招集し、条例案などの御審議をお願いするものであります。

ただいま提案をいたしました各議案につきまして、提案の理由を御説明申し上げます。

議案第103号は、令和7年度一般会計補正予算であります。

歳入歳出予算については、学校及び保育施設等の給食食材料費高騰への対応のための令和7年度下半期分の支援に係る経費など、総額15億700万円を追加するものであります。

今回の補正により、一般会計の総額は、5,549億7,100万円となるものであります。

次に、繰越明許費については、下田最終処分場浸出水処理施設建替事業など2事業の完了が翌年度にわたることから追加するもので、債務負担行為については、千葉マリンスタジアムや市民会館の整備に係る経費のほか、脱炭素化に向けた電力調達のための経費など10件を追加するもので、地方債については、総務管理事業費など2件を変更するものであります。

議案第104号から第109号までの6議案は、いずれも令和7年度特別会計の補正予算で、総額24億3,700万円を追加するものであります。

今回の補正により、特別会計の総額は、4,621億4,200万円となるものであります。

議案第105号の動物公園事業特別会計、議案第107号の病院事業会計、議案第109号の水道事業会計は、いずれも脱炭素化に向けた電力調達のための債務負担行為を追加するものであります。

これに加えて、議案第104号の介護保険事業特別会計は、前年度剰余金を介護給付準備基金へ積み立てるとともに、国庫負担金等の超過交付分の返還金を追加するもので、議案第106号の学校給食事業特別会計は、市立小中学校等の給食食材料費を追加するものであります。

また、議案第108号の下水道事業会計は、管路重点調査に係る国庫補助金の追加に伴い、財源更正を行うとともに企業債を追加するほか、管路施設の管理業務について、業務ごとの個別発注から包括的な発注に切り替えるため、債務負担行為を追加するものであります。

議案第110号から第121号までの12議案は、条例の改正及び廃止であります。

議案第110号は、新たに、家畜伝染病の蔓延防止のための作業に従事した職員に対する手当を設けるもので、議案第111号は、育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正等を踏まえ、職員に対する仕事と育児や介護の両立支援制度の利用に係る情報提供等に関する規定を設けるもので、議案第112号は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の部分休業制度を拡充するほか、所要の改正を行うものであります。

議案第113号は、証紙による手数料の徴収を廃止するもので、これに伴い、議案第114号は、電子申請システム等を使用した手数料の納付につき規定の整備を行うもので、議案第115号は、納入通知書により手数料を徴収する場合の徴収時期の例外規定を設けるものであります。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

議案第116号は、斎場の使用料を改定するほか、所要の改正を行うもので、議案第117号は、新たに、家庭系プラスチック資源に係るごみ処理手数料を定めるもので、議案第118号は、新たに幕張若葉小学校を設置するほか、更科小学校富田分校を廃止するものであります。

議案第119号は、千葉マリスタジアムの利用料金の上限の額を改定するもので、議案第120号は、指定自転車駐車場に係る整理に要する費用の額を改定するほか、一時利用に係る回数券を廃止するもので、議案第121号は、下水道使用料の額を改定するものであります。

議案第122号は、消防救急デジタル無線機を取得するもので、議案第123号は、花見川消防署畑出張所改築工事について、工事請負契約を締結するもので、議案第124号は、主要地方道生実本納線赤井町地区の函渠整備工事について、工事請負契約を締結するものであります。

議案第125号は、千葉アイススケート場の指定管理者を指定するもので、議案第126号は、新清掃工場建設工事の契約金額を変更するもので、議案第127号は、市道路線を認定するもので、議案第128号は、令和6年度下水道事業会計の未処分利益剰余金の一部を減債積立金に積み立てるとともに、その残額を資本金に組み入れるものであります。

議案第129号から第146号までの18議案は、令和6年度決算の認定であります。

令和6年度決算は、一般会計の決算額が、歳入は5,294億7,000万円、歳出は5,256億7,700万円で、歳出の決算規模は、過去2番目の大きさとなりました。

実質収支につきましては、市税収入が予算に比べ増収となったことなどから、29億8,200万円の黒字となったところです。

また、特別会計13会計の決算額は、歳入3,360億7,800万円、歳出3,333億8,900万円となったほか、企業会計4会計の決算額は、歳入849億7,000万円、歳出967億6,200万円となり、収支不足分については、損益勘定留保資金等で対応しました。

また、全会計の市債残高は、対前年度比37億円減の9,530億円となったところであります。

それでは、令和6年度の市政運営の内容について御説明申し上げます。

令和6年度は、少子・超高齢社会の進展に加え、市有施設の更新や物価高騰の影響への対応などに財政需要が見込まれ、厳しい収支見通しの中、財政の健全性の維持及び行政改革の推進、第1次実施計画事業の推進の2つの方針を基本に当初予算を編成いたしました。

まず、財政の健全性の維持及び行政改革の推進につきましては、市民生活に配慮しつつ、既存の事務事業の整理合理化などを図るとともに、市債発行事業の厳選や、基金借入残高の削減に努めてきたところであります。

また、第1次実施計画事業の推進につきましては、千葉市ならではの特性を活かしつつ、新たな時代を切り拓く未来志向のまちづくりを推進するべく、子ども・教育や健康・福祉、環境・自然や安全・安心などの分野に、予算を重点的に配分したところです。

加えて、長期化する物価高騰の影響を踏まえ、市民生活や事業活動を支援するための各種対策を講じるなど、状況に応じて補正予算を編成し、機動的な対応を図ってまいりました。

主な事業内容を申し上げますと、子ども・教育の分野では、子ども医療費の助成対象を高校3年生相当年齢まで拡大するとともに、小学4年生以上の通院に係る保護者負担を軽減したほか、産後ケアの訪問型について、対象となる乳児の年齢を産後5か月未満から1年未満に拡充するなど、出産から子育て期までの支援の充実に取り組んでまいりました。

また、待機児童対策では、ニーズを踏まえた施設整備や受入れ枠の見直しなどにより、本年4月には、保育所等では6年連続、子どもルームでは2年連続待機児童ゼロを達成いたしました。

た。

加えて、保護者負担の軽減を図るため、公立保育所において、3歳以上児への主食提供を段階的に開始したほか、保護者の就労状況を問わず時間単位で柔軟に利用できる、こども誰でも通園制度を試行的に実施いたしました。

さらに、学びを支える教育環境の充実として、トイレの洋式化及び床のドライ化を全校で完了したほか、引き続き、学校施設の大規模改造や外部改修などの老朽化対策を実施するとともに、体育館への冷暖房設備導入に向け、実施設計等を行いました。

このほか、増加する不登校児童生徒への対応として、別室に登校する児童生徒を継続的に支援するステップルームティーチャーを増員するとともに、ライトポートに通級する児童生徒の相談支援の充実のため、カウンセラーを拡充いたしました。

健康・福祉の分野では、健康寿命の延伸を図るため、フレイルが疑われる高齢者への保健指導等を行う医療専門職を、中央区及び緑区の保健福祉センターに配置することで、6区全てでの配置が完了し、全区で高齢者に対する保健事業と介護予防を一体的に実施いたしました。

また、医療提供体制の充実として、市立海浜病院の老朽化に対応し、引き続き、新病院の整備を進めたほか、動物愛護を推進するため、動物福祉の視点も踏まえた（仮称）動物愛護センターの整備に向けた基本計画を策定いたしました。

加えて、障害の早期発見、早期支援を行う体制を整備するため、未就学児の発達に関する相談窓口、こども発達相談室を昨年11月に開設いたしました。

このほか、社会から孤立するなど必要な支援が届いていない方を支援するため、福祉まるとサポートセンターにおいて、本人とのつながりの形成に向けた訪問等の支援を開始するなど、重層的・包括的な支援体制の構築を推進しました。

環境・自然の分野では、脱炭素先行地域事業として、市有施設への太陽光発電設備等の導入を進めるとともに、清掃工場の余剰電力を市有施設で活用するための設計等を実施したほか、引き続き、住宅用再生可能エネルギー等設備の導入や次世代自動車の購入に係る費用を助成するなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進してまいりました。

このほか、資源循環による脱炭素化を推進するため、プラスチックの分別収集・再資源化モデル事業を実施するとともに、将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、新清掃工場の整備を着実に推進したところです。

安全・安心の分野では、想定最大規模の高潮をはじめとする大規模な風水害が発生した場合の避難手法等を検討するため、建物被害・人的被害に関する防災アセスメント調査を実施するとともに、避難所を円滑に開設・運営する体制を構築するため、避難所運営委員会の活動費用への助成を拡充したほか、引き続き、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進めてまいりました。

また、犯罪の未然防止のため、町内自治会などによる防犯カメラの設置費用助成や、駅周辺への防犯カメラの設置を拡充したほか、繁華街の客引き対策として、指導員に加え、民間警備を導入するなど、巡回及び指導体制を強化いたしました。

このほか、犯罪被害に遭われた方などを社会全体で支え、誰もが安心して暮らせる社会を構築するため、犯罪被害者等への相談支援のほか、日常生活の支援や見舞金の支給などを開始したところであります。

地域社会の分野では、持続可能な市民主体のまちづくりを推進するため、地域団体に対し、

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

複雑多様化する地域課題の解決に向けた研修会などを実施したほか、町内自治会の活動を持続可能なものとするため、デジタルツールを活用したモデル事業などを実施いたしました。

また、インクルーシブなまちづくりを推進するため、障害の有無などにかかわらず、誰もが一緒に遊べるよう、花島公園における広場の整備に向けた実施設計を行ったほか、地域の学びと防災に係る機能強化を図るため、千城台南小学校跡地において、千城台公民館と若葉図書館の複合施設化による再整備に向け、基本設計を実施いたしました。

文化芸術・スポーツの分野では、本市の文化芸術のさらなる振興を図るため、千葉国際芸術祭のプレイベントを開催するとともに、千葉開府900年に向けて、郷土の歴史への理解促進を図るため、郷土博物館の展示リニューアル改修を進めてまいりました。

また、パラスポーツの推進を図るため、千葉市スポーツ協会が実施する、身体障害者を対象としたパラスポーツ教室や、指導者育成などの取組を支援してまいりました。

都市・交通の分野では、バス路線の廃止に伴い、大宮台コミュニティバスの運行を開始するとともに、生活に不可欠な既存バス路線の維持確保のため、路線バス事業者への支援のほか、バスやタクシーの運転手不足に対する支援などを実施してまいりました。

また、都心の魅力向上を図るため、千葉駅周辺における官民連携によるウォーカブルなまちづくりを推進するとともに、中央公園・通町公園の連結強化のための整備や、千葉公園の再整備を推進したところであります。

加えて、老朽化が進んでいる千葉マリスタジアムの将来像を示す基本構想の策定を進めたほか、千葉開府900年となる令和8年度に向けて、千葉開府まつりの開催や記念ロゴマーク、キャッチコピーの公募、選定、サイトの開設など、市民の機運醸成を図ってまいりました。

このほか、広域道路ネットワークを形成するため、引き続き、塩田町菅田町線や磯辺茂呂町線などの街路整備を推進したほか、テクノロジーを生かしたまちづくりの推進として、幕張新都心における自動運転車サービスの安全性検証のため、デジタルツイン環境での実証実験を行ったほか、区役所市民総合窓口で申請書の記載が不要となる、書かない窓口の開設に向けた準備を進めるなど、スマートシティ推進ビジョンの実現に向けた取組を推進してまいりました。

地域経済の分野では、積極的に推進している企業立地の事業計画認定件数が3年連続で過去最多を更新するとともに、ネクストコア千葉生実についても、許認可取得のための手続を支援し、事業を着実に推進するなど、雇用の場の確保や、将来の税源の涵養に向けた取組を推進いたしました。

また、市内経済を牽引する企業の輩出と、創業の地として選ばれる街となることを目指し、スタートアップ企業の成長を、外部メンターにより支援するとともに、イノベーションの創出を促進するなど、企業の成長や、創業を支援する取組の強化を図ったところであります。

加えて、食のブランド千の推進に向けて、引き続き、商品の認定やプロモーションを実施するとともに、販売会を都内においても実施するなど、首都圏での販路確保を進めたほか、本市農業の持続的な発展と成長産業化の促進を図るため、農業機械、施設整備に係る費用を助成するとともに、新規就農者を育成するための研修を実施いたしました。

このほか、本市のブランディングや市内外からの集客による地域への経済効果の創出を図るため、Xゲームズ千葉2024の開催を支援するとともに、M I C Eの推進については、地域への波及効果を高めるための取組や脱炭素化に係る取組への支援を通じ、国際会議等の誘致を進めたところです。

さらに、長期化する物価高騰の影響を受ける市民、事業者の皆様を支援するため、定額減税調整給付金など国の取組への対応に加え、本市独自の施策として、学校及び保育施設等の給食食材料費高騰分の支援や、エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業者や公共交通事業者に対する支援を実施するなど、補正予算の編成を含め、機動的な対策を講じてきたところであります。

以上、このたび提案いたしました議案の概要を申し上げます。

何とぞ、よろしく御審議いただきますよう、お願い申し上げます。

○議長（松坂吉則君） 続いて、発議第7号について、提案理由の説明をお願いいたします。
21番・栢澤洋平議員。

〔21番・栢澤洋平君 登壇、拍手〕

○21番（栢澤洋平君） 日本共産党千葉市議会議員団の栢澤洋平です。

発議第7号・千葉市カスタマーハラスメント防止条例について、提案理由の説明を行います。

この条例は、顧客等から就業者に対して行われる、大声での恫喝あるいは長時間の電話などの著しい迷惑行為であるカスタマーハラスメントの防止に関し、基本理念を定め、市、顧客、そして就業者及び事業者の責務を明らかにするとともに、カスタマーハラスメントの防止に関する施策の基本的な事項を定めることにより、顧客等の豊かな消費生活、就業者の安全及び健康の確保並びに事業者の安定した事業活動を促進し、もって公正かつ持続可能な社会の実現に寄与するため、条例を制定しようとするものであります。

本市が令和2年度に実施した市内の高齢・介護サービス事業所におけるカスタマーハラスメントの実態調査においては、回答者の約半数近い事業者が、利用者や家族から暴言などの行為を受けたことがあると回答したことから、市では介護現場でのハラスメントの防止に向けた啓発活動を実施しております。

しかしながら、カスタマーハラスメントは、介護の現場にとどまりません。昨年サービス業などの労働組合同盟であるＵＡゼンセンが、流通系企業の従業員の5割が顧客からの暴言などのカスタマーハラスメント被害にあったとする調査結果を発表したところであります。また令和2年国勢調査によると、本市内の就業者数約42万人のうち、卸売・小売業の従事者は約7万人、サービス業を含めると第3次産業の従事者は約33万人と多数を占めております。現に、カスタマーハラスメントを抑制する取組を求める声が寄せられているなか、市民の皆さまの理解促進と実効性のある施策が必要と考え、本条例を提案するものであります。

本条例の制定に伴いまして、中小事業者にもガイドラインあるいはマニュアル整備などの負担が生じるため、相談窓口の開設、共通マニュアルの公開など、事業者支援に取り組むことが重要であると考えます。同時に最も大事なことは、市民全体に著しい迷惑行為とは何か、カスタマーハラスメントとは何かを御理解いただくことで、カスタマーハラスメントの発生を抑止していくということであります。

先輩・同僚議員に申し上げます。本条例はサービス業の従業員を守るだけの条例ではございません。なぜなら、カスタマーハラスメントは誰もが、被害者にも加害者にもなりうる問題だからであります。現在は、インターネットにも氏名が公開され誹謗中傷が拡大する悪質なケースもありますので、全ての市民の皆さまの人権を守るために、速やかに本条例を制定し、実効性ある取組を進めて、思いやりあふれる千葉市を共につくろうではありませんか。本条例の制定に御賛同いただくよう心よりお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。（拍

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第1号（9月4日）

手)

○議長（松坂吉則君） お聞きのとおりでございます。

なお、ただいま議題となっております議案のうち、議案第110号から第112号までについては、地方公務員法第5条第2項の規定に基づき人事委員会の意見を求めておりましたところ、お手元に配付しております写しのとおり、意見が参っておりますので、御了承願います。

条例案に対する意見を添付

○議長（松坂吉則君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

次会は、9日午後1時から会議を開きます。

本日は、これをもって散会いたします。御苦労様でした。

午 後 1 時 27 分 散 会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

千葉県議会議長

松 坂 吉 則

千葉県議会議員

伊 藤 康 平

千葉県議会議員

阿 部 智